

1. 基礎情報

自治体名	大垣市
担当部署名	市民活動部まちづくり推進課
電話番号	0584-47-8546
ホームページ	https://www.city.ogaki.lg.jp



就学前外国人児童日本語指導事業(プレスクール)の様子

在留外国人数	令和4年4月現在	5,480	人	住民基本台帳人口に占める割合	3.4	%
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ブラジル)	2,240	人	2位 (中国)	1,138	人
				3位 (ベトナム)	559	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	外国人市民が必要な情報を入手できるようさまざまな媒体や手段を活用して、情報を提供している。	
具体的な取組内容	<p>大垣市の在住外国人は、令和4年4月現在5,480人で、人口の3.4%を外国人市民が占める。これらの外国人市民のため、外国語通訳者による相談窓口を設置しているほか、多様な媒体により多言語の情報提供を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民人市民相談窓口 ポルトガル語相談員2人：月～金曜日 8時30分～17時15分 英語相談員1人：月～木曜 8時30分～17時15分 中国語相談員1人：金曜 9時～17時 その他 通訳サービス：31言語、AI通訳機：75言語に対応 ・外国語による情報提供 ポルトガル語情報誌「アミーゴ」の発行、ポルトガル語、英語及び「やさしい日本語」による行政情報等のメール配信、Facebook(ポルトガル語、英語、「やさしい日本語」)及び微信(中国語)による情報提供 など 	
大分類	生活支援	
小分類	教育機会の確保	
取組のポイント	日本語を母語としない子どもや保護者のために学習支援を行っている。	
具体的な取組内容	<p>① 就学前外国人児童日本語等指導事業(プレスクール)</p> <p>小学校入学直前の外国にルーツを持つ5歳児を対象に、マンツーマンによる日本語語い指導を行っている。また、日本の学校制度等に明るくない外国人保護者を集め、小学校の一日や入学までに必要な準備に関する説明会を開催し、入学後に戸惑うことがないようにしている。</p> <p>② 外国人児童生徒語学学習支援事業(放課後支援教室)</p> <p>日本語が難しい外国にルーツを持つ児童生徒を、週2回放課後に集め、宿題サポートや補修指導等を行う教室を開催している。</p> <p>③ 多文化共生サポーター事業</p> <p>小学校などの要請に応じて、多文化共生サポーターを派遣する。サポーターは授業に入り込み、外国人児童の傍らについて、授業の言葉を「やさしい日本語」に言い換えるなどして、児童の理解をサポートしている。</p>	